

# 中学地理プリント (過去問類似)

## 関東地方

名前

得点

/10

問1 群馬県などの標高が高い地域で行われている「高冷地農業」の特徴として、記述内容が正しいものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)

1. 夏に冷涼な気候を活かし、平地で収穫が少なくなる8月頃にキャベツなどを出荷する。
2. 冬に温暖な気候を活かし、平地で収穫が少なくなる1月頃にキャベツなどを出荷する。
3. 夏に降水量が少ない気候を活かし、乾燥に強いオリーブやぶどうを大規模に栽培する。
4. 都市に近い利点を活かし、トラック輸送の時間を短縮してレタスなどの鮮度を保ち出荷する。

問2 関東地方の北西部に位置する内陸県の一つで、利根川の上流域に広がり、県庁所在地を前橋市に置く自治体はどこですか。 (2025年 長野公立入試 類似)

1. 群馬県
2. 栃木県
3. 茨城県
4. 埼玉県

問3 2022年の農産物収穫量に関する統計によると、全国合計約9万6600トンのうち、1位の和歌山県が6万4400トンと圧倒的なシェアを占めていますが、それに次いで3680トンの収穫量をあげ全国2位となっている県はどこですか。 (2025年 長野公立入試 類似)

1. 群馬県
2. 栃木県
3. 山梨県
4. 長野県

問4 1985年に発行された八王子市の地形図では山地や森林が広がっていた地域が、2015年の地形図では大規模な区画整理が行われ、新たな住宅地へと変化しています。この地域の開発に伴い、新しく地図上に描き加えられた鉄道駅の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 八王子みなみ野駅
2. 高尾駅
3. 北八王子駅
4. 片倉駅

問5 関東平野の台地を広く覆っている、富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が堆積してできた赤土の層を何と呼びますか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 関東ローム
2. シラス
3. フォッサマグナ
4. カルデラ

問6 日本の乳用牛の飼育頭数に関する統計において、上位8位までの中に栃木県、群馬県、千葉県、茨城県の4県が含まれている地方として、正しいものはどれか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 東北地方
2. 中部地方
3. 近畿地方
4. 関東地方

問7 関東平野の台地の大部分を覆っている、富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が降り積もってきた赤土の層を何とよびますか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)

1. 関東ローム
2. シラス台地
3. 沖積土
4. 風成砂丘

問8 茨城県つくば市の大部分で見られるような、火山灰の堆積によってできた赤土が広がる台地の性質と、土地利用について述べた文として正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 水はけが良いため、古くから畑作が行われたり、平地林として利用されたりしてきた。
2. 水持ちが良いため、広大な水田が開発され、日本有数の稲作地帯となっている。
3. 保水力が低いいため、大規模な灌漑施設を整備することで主に稲作が行われている。
4. 土壌に塩分を多く含むため、干拓地として開発され、現在は工業用地となっている。

問9 関東地方に位置するある県の農業産出額の内訳をみると、米の占める割合が2割弱であるのに対し、野菜と畜産がそれぞれ約3割ずつとバランスよく高い割合を占めています。大消費地である東京への供給地としての役割が強いこの県はどこですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

1. 茨城県
2. 新潟県
3. 青森県
4. 宮崎県

問10 関東地方の各県の工業的特徴を比較した際、製造品出荷額等の合計が約18兆円と非常に大きく、かつ産業内訳において「化学工業」や「鉄鋼業」の占める割合が他県に比べて高い特徴を持つ県はどこですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)

1. 千葉県
2. 神奈川県
3. 群馬県
4. 埼玉県

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 夏に冷涼な気候を活かし、平地で収穫が少なくなる8月頃にキャベツなどを出荷する。	高冷地農業は、標高が高い場所特有の「夏でも涼しい」という気候条件を最大限に利用していません。統計上、群馬県では3月の出荷量がわずかであるのに対し、8月の出荷量が極めて多くなるのは、この気候を利用して栽培されたキャベツが市場に出回るためです。冬の温暖さを利用するわけではないため、出荷時期や気候の組み合わせに注意が必要です。
問2	<b>答え 1</b> 群馬県	関東地方には、海に面していない内陸県が群馬県、栃木県、埼玉県の3つ存在します。その中で最も北西に位置し、前橋市に県庁を置くのが群馬県です。また、隣接する栃木県の県庁所在地は宇都宮市、埼玉県の県庁所在地はさいたま市です。
問3	<b>答え 1</b> 群馬県	梅の生産は和歌山県が全国の収穫量の約3分の2を占めていますが、群馬県も全国2位の主要な産地です。群馬県は古くから梅の栽培が行われており、特に県西部や榛名山麓などで生産が盛んです。統計上でも、3位の山梨県（1710トン）を大きく上回る生産量を維持しています。
問4	<b>答え 1</b> 八王子みなみ野駅	1980年代半ばまで森林や山地が卓越していた八王子市南部では、大規模な宅地開発が進められました。これに伴い、1997年にJR横浜線の新駅として「八王子みなみ野駅」が開業し、2015年の地形図では駅を中心に整然とした街並みが描かれています。地形図を比較することで、短期間で土地利用の変化や交通網の整備を読み取ることができます。
問5	<b>答え 1</b> 関東ローム	関東平野の台地に堆積しているこの土層は、更新世（鮮新世末期から完新世まで）の火山活動によって噴出した火山灰が風で運ばれ、長期間にわたって積もったものです。鉄分が酸化しているため、赤みを帯びた色をしているのが特徴です。
問6	<b>答え 4</b> 関東地方	乳用牛の飼育は北海道が圧倒的に盛んですが、それに次いで飼育頭数が多いのが関東地方の諸県です。これは、巨大な人口を抱える都市圏に向けた「近郊農業」として酪農が発展してきた歴史があるためです。特に栃木県は、北海道に次ぐ全国第2位の生乳生産量を誇るなど、関東地方は日本の酪農において重要な役割を果たしています。
問7	<b>答え 1</b> 関東ローム	この土層は、数万年前からの火山活動によって飛散した火山灰が、関東平野に存在する古い台地の上に長期間にわたって堆積したものです。火山灰に含まれる鉄分が酸化しているため、独特の赤褐色（赤土）を呈しています。
問8	<b>答え 1</b> 水はけが良いため、古くから畑作が行われたり、平地林として利用されたりしてきた。	関東ローム層は粒子の間に隙間が多く、水はけが良いという特徴を持っています。そのため、水持ちの良さが求められる稲作には向かず、伝統的に麦や野菜などの畑作、あるいは薪などを得るための平地林（雑木林）として利用されてきた歴史があります。
問9	<b>答え 1</b> 茨城県	茨城県は広大な関東平野を有し、首都圏という大消費地に隣接しているため、近郊農業が非常に盛んです。特定の品目に特化しすぎず、野菜や畜産を組み合わせるバランスよく生産している点が統計上の大きな特徴です。これに対し、新潟県は米の割合が突出しており、宮城県は畜産の割合が非常に高いという違いがあります。
問10	<b>答え 1</b> 千葉県	千葉県は京葉工業地域を擁しており、特に石油化学コンビナートや製鉄所が集中しているため、製造品出荷額等に占める化学工業や鉄鋼業の割合が非常に高いのが特徴です。神奈川県（京浜工業地帯）も工業出荷額は大きいですが、千葉県はより重化学工業に特化した構造を持っています。一方、群馬県などの北関東は自動車などの機械工業の割合が高いという違いがあります。